

3年連続で荒川(福島市)が“水質ランキング全国“1位” ～平成24年の国土交通大臣管理区間の河川水質調査結果～

国土交通省では、昭和33年(東北地方:昭和35年)から一級河川(大臣管理区間)において水質調査を実施しています。
平成24年(1月～12月)の水質調査結果が発表(8月2日)になり、
荒川が3年連続で全国の水質ランキング1位になりました。

※全国の水質調査対象河川数－163河川

荒川の ● BOD 平均値 H24 0.5 mg/l H23 0.5 mg/l
水質 ● BOD75 %値 H24 0.5 mg/l H23 0.5 mg/l

【河川水質ランキング対象河川の条件と評価基準】

■河川水質ランキングは、以下の条件を満たす河川を対象としています。

- ・一級河川本川：国土交通大臣管理区間に調査地点^{注)}が2つ以上ある河川。
- ・一級河川支川：国土交通大臣管理区間の延長が概ね10 km以上で、かつ調査地点^{注)}が2つ以上ある河川。

注)湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点は含まない。ダム貯水池は原則として調査地点は含まない。

■順位は、BOD(生物化学的酸素要求量)の年平均値を用いて、各河川毎に全ての調査地点を平均した値で評価します。なお、年平均値が同じ場合には75%値で評価しています。

水質3年連続全国第1位は、流域の皆様の河川愛護のおかげと思われま
す。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

<記者発表先> 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島市黒岩字榎平36番地

TEL 024(546)4331(代表)

副所長(河川) 畠山 浩晃(内線204)

河川管理課長 穴戸 善博(内線331)

占用調整指導官 嶺岸由紀彦(内線303)

【参考】

※BOD（生物化学的酸素要求量）

水の汚れ（有機物）が微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量のこと、河川の水質を示す代表的指標値として使われます。数値が大きいほど水質が汚れていることを示します。

BODに関する水質分析は、最小値を0.5 mg/l として分析をするため、ランキング上、もっともBODの小さい値0.5 mg/l となります。

※75%値

月1回の水質測定で年12回分のデータがあったとした場合、データを小さい順から並べ12回×0.75≒9番目のデータ値をいいます。

※国土交通本省（全国版）・東北地方整備局においても記者発表しております。